



なかっ子だより

中新田小学校
学校だより
令和3年2月9日

学校ホームページ

<http://www.nakashindensyo.edu.city.ebina.kanagawa.jp/>

豆太のように優しく、そしてたくましく

小学校の国語の教材には、素敵な作品がたくさんあります。『くじらぐも』、『お手紙』、そして、私も大好きな『スイミー』。保護者の皆様にとっても、きっと懐かしい作品ばかりでしょう。

先日、3年生のクラスで、国語の授業をさせていただきました。教材は『モチモチの木』。私が全文朗読をした後、子どもたちに感想を発表してもらいました。以下、『モチモチの木』（作 斎藤隆介）の簡単なあらすじです。

『5さいの豆太は、とても怖がりな男の子。家の外には、大きなモチモチの木が、幽霊のように空一杯に枝を伸ばしています。豆太は、やさしいおじいさんとの2人暮らし。ところがある日、大好きなおじいさんが倒れてしまい…。お医者様を迎えに行くために、怖い夜の山道を泣きながら走っていく豆太。やっとの思いで、おじいさんの元へと戻ると、そこで見たのは、暗い夜空を美しく照らすモチモチの木にともる灯り。「モチモチの木に、ひがついてる!」。それは、山の神様のお祭りの日に勇気ある子どもだけが見られると言い伝えられていた光景でした。じいさまが豆太に言いました。「じぶんでじぶんをよわむしだなんておもうな。にんげん、やさしささえあれば、やらなきやならねえことは、きっとやるもんだ。」』

「校長先生、いい話だったね。」子どもたちはじっと聞いてくれていました。

誰かのために力になろうという気持ちが生まれたとき、私たちには、頑張る力が湧いてきます。こんな気持ちを育むためには、人に優しくされたり、甘えられたり、そして時に叱られたり、そんな人に愛される経験が何よりも尊いのだと思います。たくさんの人たちに見守られながら、心も身体も大きく成長してほしいです。豆太のように優しく、そしてたくましく。

書き初め展
廊下の展示物の一
部をご紹介します



お知らせです

緊急事態宣言の延長のため、今月予定されていた「学校行こう DAY」は、中止と致します。ご多用の中、日程調整等ご協力くださった皆様、ありがとうございました。ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

【4年生】

4年生では、総合的な学習の時間に『未来の自分』というテーマで、「将来やってみたい」「興味のある仕事」について調べ、調べることをまとめる学習をしています。

子どもたちに「夢はありますか？」と聞くと「ない」「やりたいことがない」と答える子がいます。もちろんまだ夢が見つかっていない子もいると思いますし、必ず夢をもちなさい！と言われて夢をもつのも違う気がします。そんな子たちには、「自分が何をしている時が一番楽しいのか？」「自分が楽しめること」をまず考えさせることにしています。たとえば、サッカーをしている時が楽しいなら、サッカー選手。アニメを見ている時が楽しいならアニメ制作、歌を歌うことが好きなら歌手。少しでも興味があることについてタブレットを使って調べて、調べたことを見やすく分かりやすくまとめていきます。

今回の学習を生かして、自分の夢の実現のために、今の自分は何をすればいいのか。そして、その仕事についたら何をしたいのか、夢を着実に形にするために一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



【校内研究】

本校では、「考えを広げ、深められる児童の育成を目指して」というテーマで、主に道徳科の授業を中心に校内研究に取り組んでいます。道徳科の学習内容は大きく4つの視点に分けられていますが、今年度は「人とのかかわりに関すること」の視点の中から、「友情・信頼」「相互理解・寛容」に関する内容項目に絞って研究してきました。

学年の発達段階に応じて、「友達と仲良くするためにはどうしたらいいだろう」「考えの違う人と気持ちよく過ごすにはどうしたらいいだろう」など、教材文を読んで考えていきます。授業の中では、友達の考えから学んでいけるように、二人組や少人数での対話・話し合いを取り入れ、友達と考えを交流しあう場面を意識的に作っています。そして、みんなで考えた価値（例えば「友情・信頼」とはどんなことか、など）について、自分のこれまでの経験を振り返ります。道徳科の授業の目的は、その時間に学んだことを、自分のこととしてとらえ、自分の生き方についての考えを深めていくことにあります。したがって、学んだからといってすぐに行動に現れるというのではなく、「心に種をまくこと」「心に灯をともしこと」であるといえます。

クラスの友達と共に学ぶ中で、自分について見つめ直したり深く考えたりできるような授業を目指して、私たちは、研究を進めていきたいと考えています。



【書き初め展・作品展】

例年、書き初め展や作品展を開催し、保護者の方々にも広くご覧いただいておりますが、緊急事態宣言を受けて、今年度の両展は、校内児童のみの参観といたしました。

全校児童の力作をご覧いただけないのは、児童も学校としても残念ですが、この状況の少しでも早い収束を願い、ご理解くださるようお願いいたします。